



9月議会は9月1日から9月18日まで行われ、6年度決算は「附帯決議」を付け「認定」しました。7年度一般会計補正予算など14件の提出案件も全て可決されました。その概要をお知らせします。

《6年度決算に係る「附帯決議」（抜粋）》

決算審議で出された重要な意見を附帯決議としてまとめ、町長に提出。今後の行政執行に活かすよう議会として求めました。



1. 財政の健全化

- 町の財政は改善傾向にあるが、以下の点に留意され、更なる財政基盤の強化に努められたい。
- 「企業版ふるさと納税」は6年度初めて獲得した（1千万円）、「ふるさと応援寄付金」も過去最高の1億2,500万円に達した。今後も積立金の増に努められたい。

2. 地域コミュニティと社会基盤の強化

- 自治会活動における課題解決のため、自治会協議会で課題を協議できるように援助し、解決策を共に見いだせるよう支援されたい。
- 町営住宅の改築に当たっては、居住者の意向を尊重し進められたい。
- 林中ふれあい公園の廃止にあたっては、地域住民の意見を十分に聴取されたい。

3. 教育と文化芸術の振興

- 中学校の部活動の地域移行は指導者の適正報酬の検討や送迎にともなう保護者の負担増などを勘案し、無理のない地域移行が図られるよう検討されたい。
- 小中学校の児童・生徒に対し、無償で音楽鑑賞の機会を提供し、豊かな感性を育む文化教育を推進されたい。

《私の一般質問》

1. 人口減少対策の全体像を町民に説明を

問 昨年の町民ミーティングで出された意見を基に人口減少対策の全体像を明確にし、議会・町民と意見交換を行って欲しいが。

《町長》 来年度予算の編成時までに町民ミーティングを反映した対策をまとめ、話し合いができるようにしたい。

2. 都市計画マスタープランの早期変更を

問 町の土地利用や施設配置等の将来像を示す「都市計画マスタープラン（以降、マスタープラン）」は定めてから20年が経過した。社会状況は大きく変わっており、変更が必要である。しかし、当町では変更されていない。都市計画法では、「変更の必要が生じた時は遅滞なく変更しなければならない」と定めている。町の対応を問う。

《町長》 町は、国の財政支援がある「立地適正化計画（※）」の策定と一体的にマスタープランの変更を進める。町民の意見を十分に聴く必要があるので令和10年の完成を予定している。

※立地適正化計画とは：マスタープランの一部で、人口減少社会に対応した持続可能な都市構造（コンパクトシティなど）を目指す計画。

3. 町農業の振興策を問う

問 町農業担い手を増やす方策として、農業関係地域おこし協力隊員の募集増を

《町長》 町が管理できる5人を維持していく。

問 国の「集落支援員」制度を活用し管理をお願いすれば、隊員を増やせるのでは。

《町長》 検討する。

問 米のブランド化の推進を

《町長》 池田町の米は美味しいことをPRし、ブランド化については大北農協と協議していく。

問 「池田町ふれあい農園」の募集情報は町ホームページのバナーから繋がる措置を。

《町長》 移住定住バナーから繋がるようにする。

意見 「ふれあい農園」からの北アルプス景観の素晴らしさも、ホームページに載せて欲しい。



《7年度一般会計補正予算（第4号）の概要》

- 補正額 2億968万円
- 全議員の賛成で可決



旧会染保育園

《主な内容》

○旧会染保育園改修補助金 7,500万円

- ・来年4月からの民間保育園の開始にともない、事業者（有限会社ネイチャーセンター、長野市）は施設改修を行う。改修費用予定額は1億円を越える。町は改修費用の一部7,500万円を補助する。財源内訳は、国交付金6,100万円、町基金1,400万円である。

【主な改修予定】

- ・屋根の全面塗装 ・照明のLED化 ・部屋の統合
- ・床を県産材に

○美術館収蔵庫の空調更新 2,000万円

○アルプス広場整備調査委託料 130万円

【理由】10年度長野県で開催される「国民スポーツ大会」のデモンストレーション会場にアルプス広場が選定されたため。

○11月1日実施「ワインまつり」費用 142万円



「ふれあい農園」からの素晴らしい北アルプスの景観